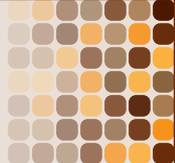




ポート・ヒロックで暮らす

LIFE IN PORT-HILLOCK

ご入居の皆様のインタビューや生活の様子をご紹介します



「やっとわが家を手に入れたという気持ちです。」



谷口 浩三 さん

谷口様はご入居 6 年目。現在、生活の拠点は台湾。ポート・ヒロックには年に数回帰ってくる生活。終の住処としてはもちろん、今はセカンドハウス*としてご利用いただいております。

入居されたきっかけを教えてください

貿易商社に勤務していたので海外生活が長く、海外では社宅に住み、「家」というものがありませんでしたので、かねてより『わが家』を求めています。定年後は当時の勤務先であった台湾に残り、生活する中、友人の紹介でポート・ヒロックを知りました。沖縄、そして海が好きというのはもちろん、施設の立地、建物、内装の立派さを気に入りました。また、何よりも気に入ったのは対応してくれたスタッフの人間味、温かみ、親切さ等のホスピタリティに感銘を受けて入居を決意しました。『やっとわが家を手に入れた』という気持ちです。

今の生活について

台北市内のマンションで一人暮らしをし、日々は趣味のカラオケを楽しんでいます。近くには日本食屋も多く、食には困りません。日本には年 4 回帰国し、ポート・ヒロックを通して病院への通院や人間ドックなど、健康管理を行います。自分で飛行機に乗れる元気なうちは台湾中心の生活を続けたいと思っています。

入居して良かった事

台湾から沖縄に帰ってきた時、スタッフの歓迎に『わが家に帰ってきた』という温かみ、家庭的なホスピタリティを感じます。これが一番良かったことですね。

また、帰国の目的である病院通院の手配や送迎をスタッフが親身になってやってくれることが嬉しいです。持病があるので心強いです。



*セカンドハウスのご利用について

ご自宅とポート・ヒロックを行き来したり、ご旅行や入院等で居室を留守にする方向けに、不在期間に応じて、管理費(月払い)が減額になる制度があります。また、留守中はお要望に応じて、居室の換気や清掃、植物の水やり等、帰宅時に快適に暮らせるようサポートしています。

